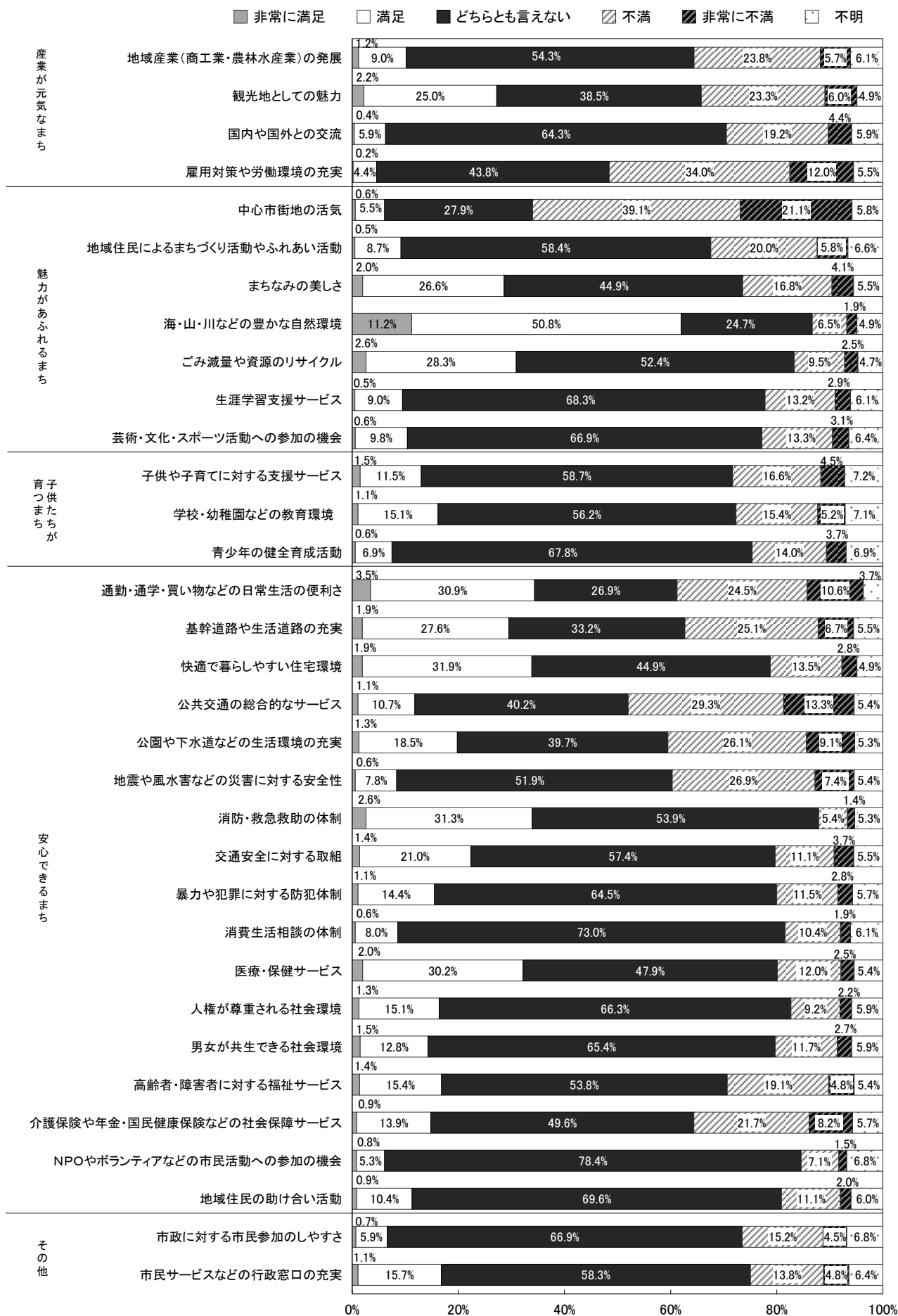


### 3. 和歌山市の取組に対しての満足度・重要度について

#### 問9 和歌山市の取組に対する満足度と重要度

<p>問9 和歌山市に住んでいて、次のことがらについてどのように感じていますか？</p> <p>(1) 満足度と(2) 重要度から、それぞれ1つずつ選んで数字を○で囲んでください。</p> <p>満足度： 1.非常に満足 2.満足 3.どちらとも言えない 4.不満 5.非常に不満</p> <p>重要度： 1.非常に重要 2.重要 3.どちらとも言えない 4.あまり重要ではない</p> <p>5.全く重要ではない</p>	
<p>安定した雇用を 生み出す産業が 元気なまち (以下「産業が元気なまち」という)</p>	地域産業（商工業・農林水産業）の発展
	観光地としての魅力
	国内や国外との交流
	雇用対策や労働環境の充実
<p>住みたいと選ばれる 魅力があふれるまち (以下「魅力があふれるまち」という)</p>	中心市街地の活気
	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動
	まちなみの美しさ
	海・山・川などの豊かな自然環境
	ごみ減量や資源のリサイクル
	生涯学習支援サービス
<p>子供たちがいきいきと 育つまち (以下「子供たちが育つまち」という)</p>	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会
	子供や子育てに対する支援サービス
	学校・幼稚園などの教育環境
<p>誰もが安心して 住み続けられる 持続可能なまち (以下「安心できるまち」という)</p>	青少年の健全育成活動
	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ
	基幹道路や生活道路の充実
	快適で暮らしやすい住宅環境
	公共交通の総合的なサービス
	公園や下水道などの生活環境の充実
	地震や風水害などの災害に対する安全性
	消防・救急救助の体制
	交通安全に対する取組
	暴力や犯罪に対する防犯体制
	消費生活相談の体制
	医療・保健サービス
	人権が尊重される社会環境
	男女が共生できる社会環境
	高齢者・障害者に対する福祉サービス
介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	
NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	
地域住民の助け合い活動	
<p>その他</p>	市政に対する市民参加のしやすさ
	市民サービスなどの行政窓口の充実

# 【満足度】



## 【満足度・不満足度】

### <全体>

和歌山市の取組の満足度（「非常に満足」と「満足」の合計）の上位5項目は順に、「海・山・川などの豊かな自然環境」（62.0%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（34.4%）、「消防・救急救助の体制」（33.9%）、「快適で暮らしやすい住宅環境」（33.8%）、「医療・保健サービス」（32.2%）となっている。「魅力があふれるまち」、「安心できるまち」に関する項目が上位を占める結果となっている。

不満足度（「非常に不満」と「不満」の合計）の上位5項目は順に、「中心市街地の活気」（60.2%）、「雇用対策や労働環境の充実」（46.0%）、「公共交通の総合的なサービス」（42.6%）、「公園や下水道などの生活環境の充実」（35.2%）、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（35.1%）となっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=849)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 62.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 33.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 32.2%

【不満足度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=849)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 60.2%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 35.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.1%

### <男女別満足度>

満足度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっており、2位以降は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「消防・救急救助の体制」、「医療・保健サービス」などの「安心できるまち」に関する項目が男女ともに上位を占める結果となっている。

【満足度（「非常に満足」と「満足」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=366)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 62.3%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 35.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 33.3%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 32.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 31.7%
女性 (n=467)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 36.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 34.5%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.2%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 31.9%

## <男女別不満度>

不満度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「中心市街地の活気」となっており、2位以降も「地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「雇用対策や労働環境の充実」、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「公共交通の総合的なサービス」、「公園や下水道などの生活環境の充実」など、上位を占める項目は男女で大きな違いはみられない。

【不満度（「非常に不満」と「不満」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=366)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 65.3%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 50.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 43.7%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 35.6%	・地域産業（商工業・農林水産業）の発展 【産業が元気なまち】 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 35.0%
女性 (n=467)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 57.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 36.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 35.6%

注：同率の項目は並記している。※注は以降のページも同様である。

## <年代別満足度>

満足度の上位5位の項目について年代別でみると、いずれの年代も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。また「80歳以上」では「ごみ減量や資源のリサイクル」が同率1位となっている。2位は、「20～29歳」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「30～39歳」及び「50～59歳」では「まちなみの美しさ」、「40～49歳」及び「60～69歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ」、「70～79歳」では「消防・救急救助の体制」となっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=8)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 87.5%	・地域産業(商工業・農林水産業)の発展 ・まちなみの美しさ ・快適で暮らしやすい住宅環境 ・消防・救急救助の体制			【産業が元気なまち】 【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 62.5%
20～29歳 (n=49)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 69.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 44.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 38.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 36.7%	・交通安全に対する取組 【安心できるまち】 34.7%
30～39歳 (n=98)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 70.4%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 37.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 【安心できるまち】 36.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 35.8%
40～49歳 (n=104)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 68.2%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 【安心できるまち】 44.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 39.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 36.5%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 34.7%
50～59歳 (n=139)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 69.1%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 34.6%	・観光地としての魅力 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ ・消防・救急救助の体制		【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 31.0%
60～69歳 (n=181)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 【安心できるまち】 37.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 ・消防・救急救助の体制	【安心できるまち】 【安心できるまち】 34.8%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 ・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 29.3%
70～79歳 (n=201)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 53.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 39.8%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 35.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の利便さ 【安心できるまち】 34.3%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 32.3%
80歳以上 (n=66)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 42.4%		・医療・保健サービス 【安心できるまち】 37.9%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 36.4%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 27.3%

## <年代別不満度>

不満度の上位5位の項目について年代別でみると、「18～19歳」のみ「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」が1位となっており、他の年代では「中心市街地の活気」が1位となっている。2位は、「40～79歳」では「雇用対策や労働環境の充実」、「80歳以上」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。

【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
18～19歳 (n=8)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 75.0%	・公共交通の総合的なサービス ・NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会 ・市政に対する市民参加のしやすさ		【安心できるまち】 【安心できるまち】 【その他】 37.5%	
20～29歳 (n=49)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 57.2%	・雇用対策や労働環境の充実 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・公共交通の総合的なサービス		【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 46.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 38.8%
30～39歳 (n=98)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 50.0%	・雇用対策や労働環境の充実 ・公共交通の総合的なサービス	【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 47.0%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 41.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 39.8%
40～49歳 (n=104)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 72.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 54.8%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 50.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 47.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 41.4%
50～59歳 (n=139)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 68.4%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 57.5%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 43.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 42.4%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 38.8%
60～69歳 (n=181)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 64.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 52.5%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 49.1%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 39.8%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 39.7%
70～79歳 (n=201)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 59.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 34.9%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 34.4%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 32.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 28.4%
80歳以上 (n=66)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 37.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 31.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 28.8%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 27.3%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 24.2%

注：18～19歳については回答数が少なく、5位は同率項目が11項目あるため省略している。

## <地域別満足度>

満足度の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。2位は、「中心部」では「消防・救急救助の体制」、「南部」では「快適で暮らしやすい住宅環境」、「東部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」と「消防・救急救助の体制」、「東南部」では「観光地としての魅力」、「河西部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「河北部」では「医療・保健サービス」となっている。

また、「東南部」は他の地域に比べ「観光地としての魅力」の満足度が高くなっている。

【満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=207)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 39.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 39.2%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 38.6%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 36.7%
南部 (n=99)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 70.7%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 46.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 42.5%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 39.4%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 37.3%
東部 (n=116)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 63.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 32.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 32.8%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 31.9%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 31.0%
東南部 (n=79)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 64.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 36.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 31.7%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 31.6%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 30.4%
河西部 (n=212)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 59.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 37.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 33.0%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.1%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 29.7%
河北部 (n=94)	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 61.7%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 34.1%	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 31.9%	・快適で暮らしやすい住宅環境 【安心できるまち】 31.9%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 28.7%

## <地域別不満度>

不満度の上位5位の項目について地域別でみると、いずれの地域も1位は「中心市街地の活気」となっている。2位は、「中心部」、「南部」、「東部」、「河西部」では「雇用対策や労働環境の充実」、「東南部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「河北部」では「公共交通の総合的なサービス」となっている。

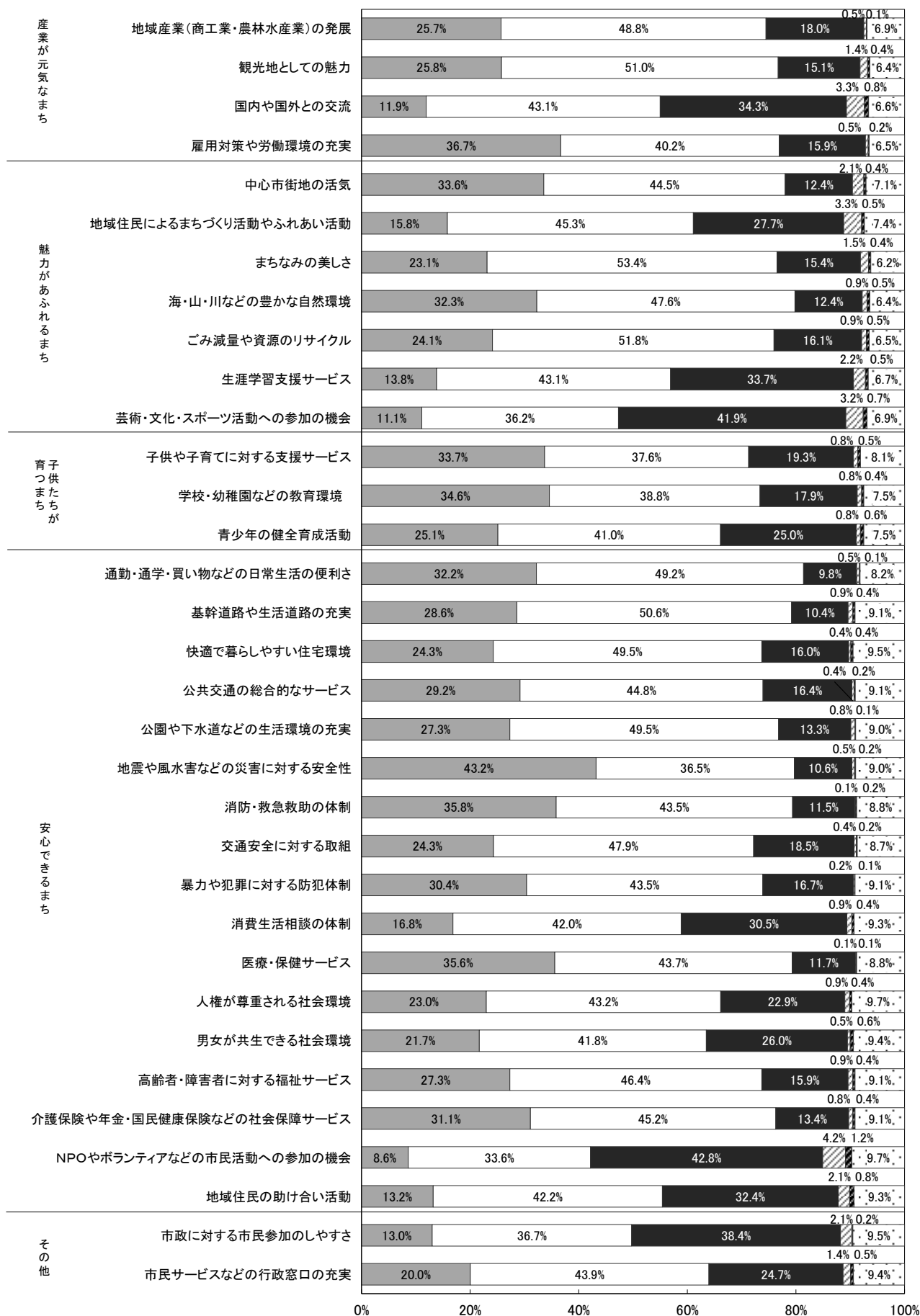
【不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=207)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 64.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 48.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 42.0%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 34.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 33.8%
南部 (n=99)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 56.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 46.5%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 33.4%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 33.3%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 28.3%
東部 (n=116)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 62.9%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 45.7%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 44.9%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 44.0%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 42.3%
東南部 (n=79)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 62.0%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 57.0%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 48.1%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 ・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 44.3%	
河西部 (n=212)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 58.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 45.2%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 43.3%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 34.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 31.1%
河北部 (n=94)	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 60.7%	・公共交通の総合的なサービス 【安心できるまち】 44.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 43.6%	・公園や下水道などの生活環境の充実 【安心できるまち】 40.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 38.3%



【重要度】

■ 非常に重要 □ 重要 ■ どちらとも言えない ▨ あまり重要ではない ▩ 全く重要ではない □ 不明



## 【重要度】

### <全体>

和歌山市の取組の重要度（「非常に重要」と「重要」の合計）の上位5項目は順に、「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」（81.4%）、「海・山・川などの豊かな自然環境」（79.9%）、「地震や風水害などの災害に対する安全性」（79.7%）、「消防・救急救助の体制」（79.3%）、「医療・保健サービス」（79.3%）となっている。“安心できるまち”、“魅力があふれるまち”に関する項目の重要度が高い傾向にある。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=849)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 81.4%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 79.9%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 79.7%	・消防・救急救助の体制 ・医療・保健サービス	【安心できるまち】 【安心できるまち】 79.3%

### <男女別>

重要度の上位5位の項目について男女別でみると、いずれも1位は「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。「男性」では「海・山・川などの豊かな自然環境」、「基幹道路や生活道路の充実」が同率1位となっている。女性では2位以降は「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「医療・保健サービス」などの“安心できるまち”、“魅力があふれるまち”に関する項目が占める結果となっている。また、「男性」では5位に「雇用対策や労働環境の充実」（80.3%）が入っている。

【重要度（「非常に重要」と「重要」を合わせた合計）】

	1位	2位	3位	4位	5位
男性 (n=366)	・海・山・川などの豊かな自然環境 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・基幹道路や生活道路の充実		【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】 81.7%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 80.6%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 80.3%
女性 (n=467)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 81.4%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 79.6%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 78.6%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 78.5%

## <年代別>

重要度の上位5位の項目について年代別でみると、1位は「40～49歳」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「50～59歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「60～69歳」では「医療・保健サービス」、「70～79歳」では「ごみ減量や資源のリサイクル」となっている。2位については、「40～49歳」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「50～59歳」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「70～79歳」では「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。

【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
20～29歳 (n=49)	・公共交通の総合的なサービス ・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 89.8%	【安心できるまち】	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 87.8%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 87.7%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 85.8%
30～39歳 (n=98)	・学校・幼稚園などの教育環境 ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・基幹道路や生活道路の充実	【子供たちが育つまち】 【安心できるまち】 84.7%	【安心できるまち】	・子供や子育てに対する支援サービス 【子供たちが育つまち】 83.7%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 82.7%
40～49歳 (n=104)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 89.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 88.5%	・雇用対策や労働環境の充実 ・基幹道路や生活道路の充実	【産業が元気なまち】 【安心できるまち】 86.5%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 85.5%
50～59歳 (n=139)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 87.8%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 87.0%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 84.9%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 83.5%	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 ・医療・保健サービス 【安心できるまち】 83.4%
60～69歳 (n=181)	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 88.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ ・消防・救急救助の体制 ・高齢者・障害者に対する福祉サービス	【安心できるまち】 【安心できるまち】 【安心できるまち】	【安心できるまち】 86.2%	・介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス 【安心できるまち】 85.6%
70～79歳 (n=201)	・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 78.6%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 76.6%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 76.1%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 74.6%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 74.1%
80歳以上 (n=66)	・観光地としての魅力 ・中心市街地の活気	【産業が元気なまち】 【魅力があふれるまち】 57.6%	・まちなみの美しさ ・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	【魅力があふれるまち】 【安心できるまち】 57.5%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 ・ごみ減量や資源のリサイクル 【魅力があふれるまち】 56.1%

注：18～19歳については回答数が少なく、1位は同率項目が13項目あるため省略している。

## <地域別>

重要度の上位5位の項目について地域別でみると、1位は「中心部」及び「河西部」では「地震や風水害などの災害に対する安全性」、「南部」では「まちなみの美しさ」、「東部」及び「河北部」では「基幹道路や生活道路の充実」、「東南部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」となっている。2位については、「中心部」では「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」、「東部」では「医療・保健サービス」、「東南部」では「観光地としての魅力」、「河西部」では「海・山・川などの豊かな自然環境」となっている。

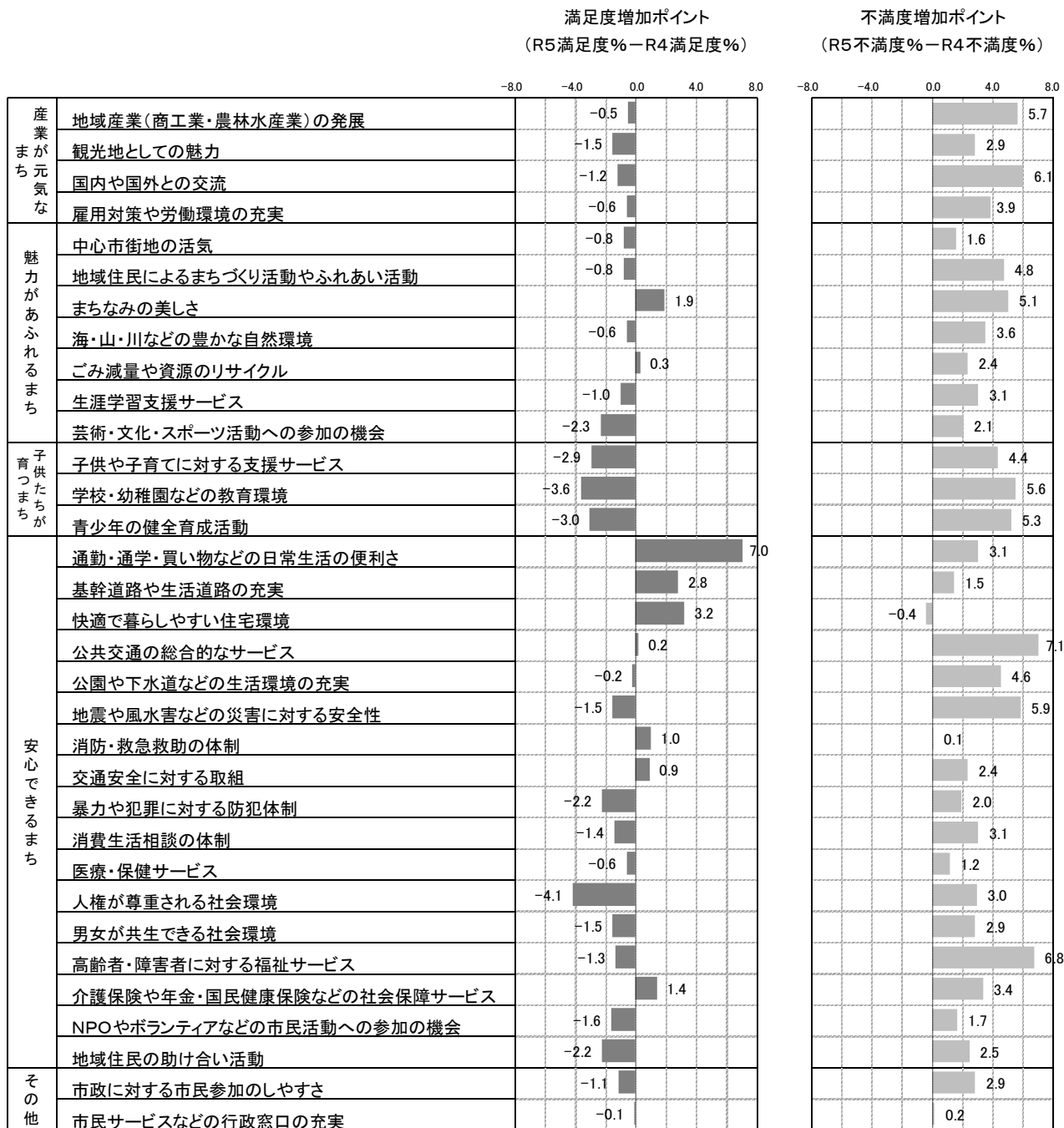
【重要度(「非常に重要」と「重要」を合わせた合計)】

	1位	2位	3位	4位	5位
中心部 (n=207)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 83.5%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 82.1%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 81.7%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 81.1%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 79.7%
南部 (n=99)	・まちなみの美しさ 【魅力があふれるまち】 87.8%	・中心市街地の活気 【魅力があふれるまち】 86.9%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 86.9%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 85.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 84.8%
東部 (n=116)	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 87.1%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 85.4%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 84.5%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 81.0%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 81.0%
東南部 (n=79)	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 84.8%	・観光地としての魅力 【産業が元気なまち】 79.8%	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 79.7%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 78.5%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 78.4%
河西部 (n=212)	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 80.2%	・海・山・川などの豊かな自然環境 【魅力があふれるまち】 79.3%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.8%	・消防・救急救助の体制 【安心できるまち】 78.3%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.3%
河北部 (n=94)	・基幹道路や生活道路の充実 【安心できるまち】 79.8%	・通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ 【安心できるまち】 78.7%	・医療・保健サービス 【安心できるまち】 78.7%	・雇用対策や労働環境の充実 【産業が元気なまち】 77.7%	・地震や風水害などの災害に対する安全性 【安心できるまち】 77.7%

【満足度：前年度の比較】

令和5年度と令和4年度の満足度の変化については、33項目中6項目で満足度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。中でも「通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ」では7.0ポイント増加している。

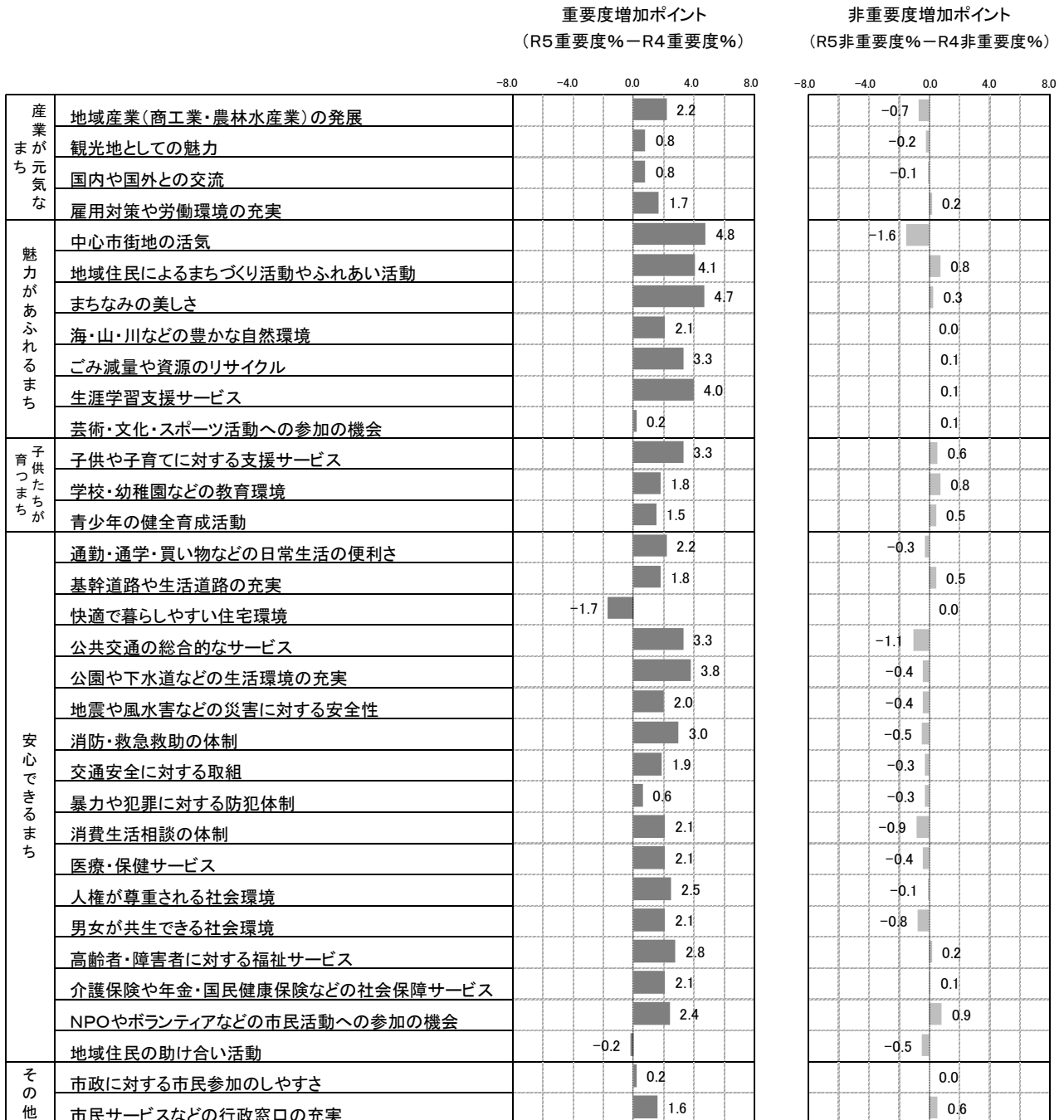
不満度の変化については、33項目中30項目で不満度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。特に「公共交通の総合的なサービス」では7.1ポイント増加しており、「国内や国外との交流」、  
「高齢者・障害者に対する福祉サービス」でも6.0ポイント以上増加している。



**【重要度：前年度の比較】**

令和5年度と令和4年度の重要度の変化については、33項目中26項目で重要度が1.0ポイント以上増加する結果となっている。中でも「中心市街地の活気」、「地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動」、「まちなみの美しさ」、「生涯学習支援サービス」では4.0ポイント以上増加している。

非重要度（「あまり重要ではない」と「全く重要ではない」の合計）の変化については、いずれの項目も2.0ポイント未満の増減に留まっている。



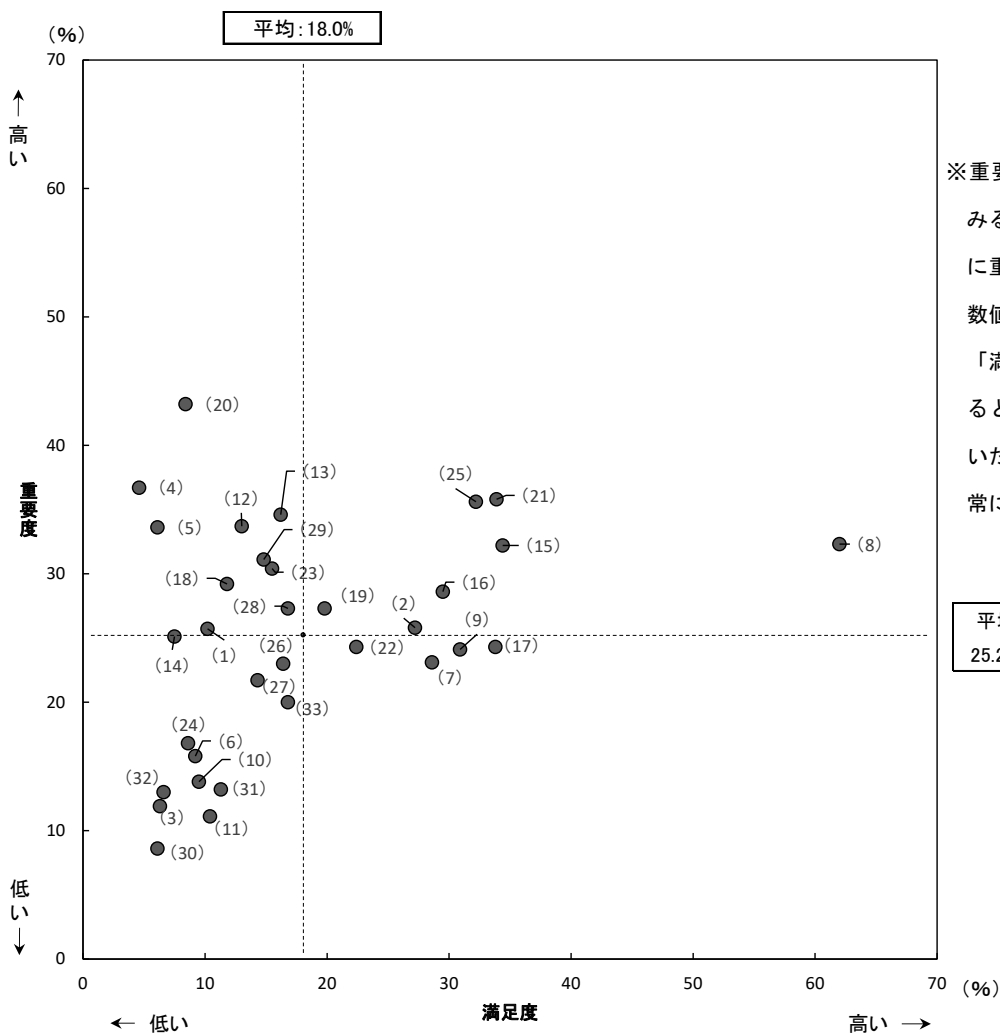
## 【重要度と満足度ギャップ分析（ポートフォリオ）】

「重要度（「非常に重要」の比率）」と「満足度（「非常に満足」と「満足」の合計）」との関係を散布図に表した。図の横軸は満足度、縦軸は重要度を表している。

重要度が平均よりも高く、満足度が平均よりも低い項目は、ギャップの大きい順にみると、「(20) 地震や風水害などの災害に対する安全性」、「(4) 雇用対策や労働環境の充実」、「(5) 中心市街地の活気」、「(12) 子供や子育てに対する支援サービス」、「(13) 学校・幼稚園などの教育環境」、「(18) 公共交通の総合的なサービス」、「(29) 介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス」、「(1) 地域産業（商工業・農林水産業）の発展」、「(23) 暴力や犯罪に対する防犯体制」、「(28) 高齢者・障害者に対する福祉サービス」の10項目となっており、早急に対策が求められている結果となっている。

満足度が重要度を10ポイント以上上回る項目は「(8) 海・山・川などの豊かな自然環境」の1項目となっている。

凡例	項目名	満足度計	重要度	(17)	快適で暮らしやすい住宅環境	33.8	24.3
(1)	地域産業(商工業・農林水産業)の発展	10.2	25.7	(18)	公共交通の総合的なサービス	11.8	29.2
(2)	観光地としての魅力	27.2	25.8	(19)	公園や下水道などの生活環境の充実	19.8	27.3
(3)	国内や国外との交流	6.3	11.9	(20)	地震や風水害などの災害に対する安全性	8.4	43.2
(4)	雇用対策や労働環境の充実	4.6	36.7	(21)	消防・救急救助の体制	33.9	35.8
(5)	中心市街地の活気	6.1	33.6	(22)	交通安全に対する取組	22.4	24.3
(6)	地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動	9.2	15.8	(23)	暴力や犯罪に対する防犯体制	15.5	30.4
(7)	まちなみの美しさ	28.6	23.1	(24)	消費生活相談の体制	8.6	16.8
(8)	海・山・川などの豊かな自然環境	62.0	32.3	(25)	医療・保健サービス	32.2	35.6
(9)	ごみ減量や資源のリサイクル	30.9	24.1	(26)	人権が尊重される社会環境	16.4	23.0
(10)	生涯学習支援サービス	9.5	13.8	(27)	男女が共生できる社会環境	14.3	21.7
(11)	芸術・文化・スポーツ活動への参加の機会	10.4	11.1	(28)	高齢者・障害者に対する福祉サービス	16.8	27.3
(12)	子供や子育てに対する支援サービス	13.0	33.7	(29)	介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス	14.8	31.1
(13)	学校・幼稚園などの教育環境	16.2	34.6	(30)	NPOやボランティアなどの市民活動への参加の機会	6.1	8.6
(14)	青少年の健全育成活動	7.5	25.1	(31)	地域住民の助け合い活動	11.3	13.2
(15)	通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ	34.4	32.2	(32)	市政に対する市民参加のしやすさ	6.6	13.0
(16)	基幹道路や生活道路の充実	29.5	28.6	(33)	市民サービスなどの行政窓口の充実	16.8	20.0



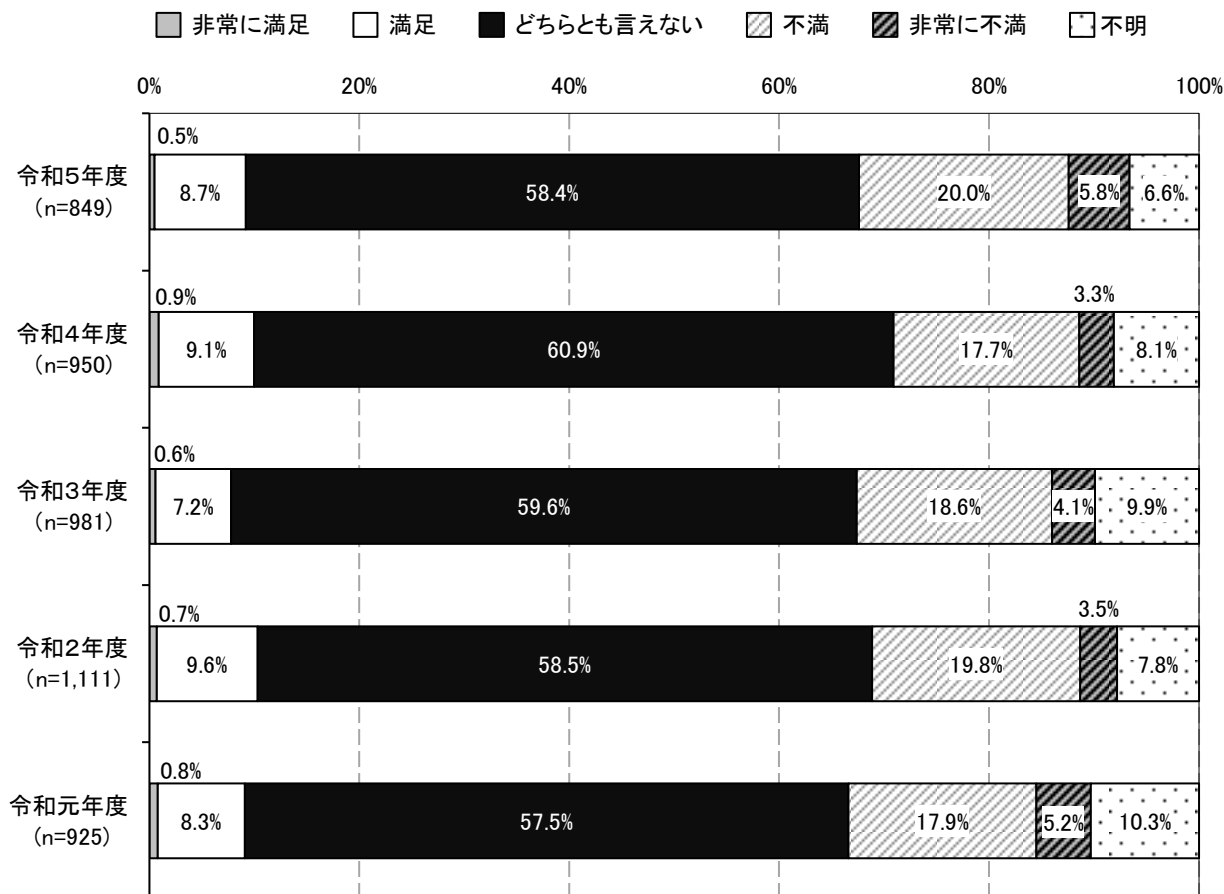
※重要度と満足度のギャップをみるにあたり、重要度を「非常に重要」と「重要」を合わせた数値で満足度（「非常に満足」と「満足」の計）のギャップをみると項目間の差が判断しにくいいため、重要度に関しては「非常に重要」の数値を採用した。

## 【満足度・不満度の指標の推移】

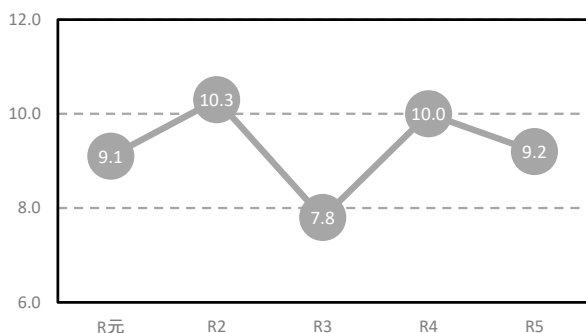
### <地域住民によるまちづくり活動やふれあい活動>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画※」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、地域住民と連携し、自主的な活動を安定的に実施できるよう支援に努めるとともに、魅力的なまちづくりやその担い手づくりを推進していく必要があると思われる。

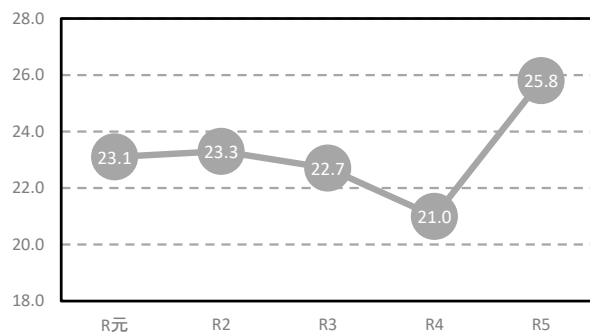
満足度目標値	(令和8年度) 20.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



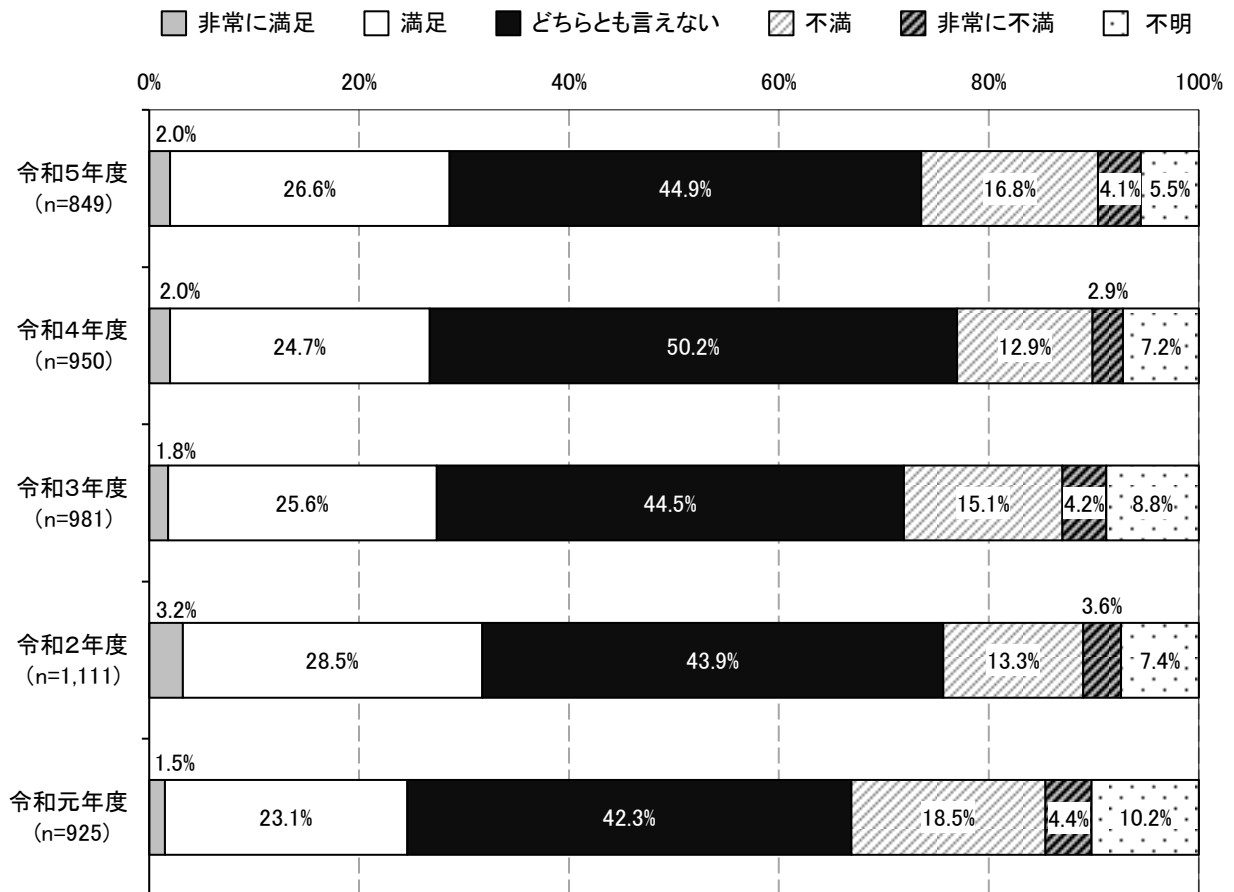
※「第5次和歌山市長期総合計画」とは、平成29年度から令和8年度までのまちづくりの方向性を示すもので、各種個別計画や事業はこの計画に基づいて策定・実施されています。



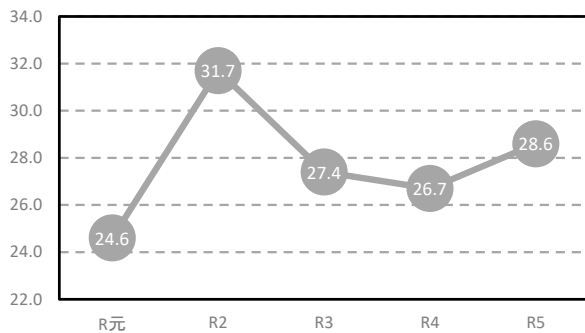
## <まちなみの美しさ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。新たな景観拠点の創出や、地域の優れた景観を保全、活用する景観まちづくりを支援するとともに、その仕組みづくりの強化を図る必要があると思われる。

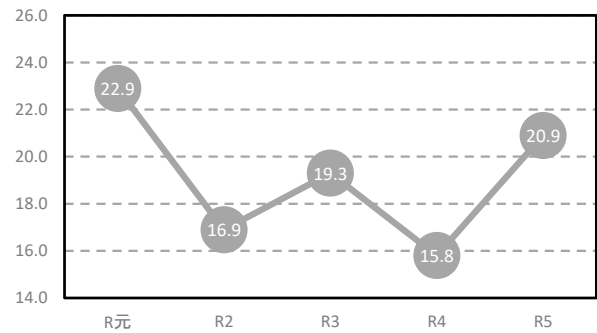
満足度目標値	(令和8年度) 33.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



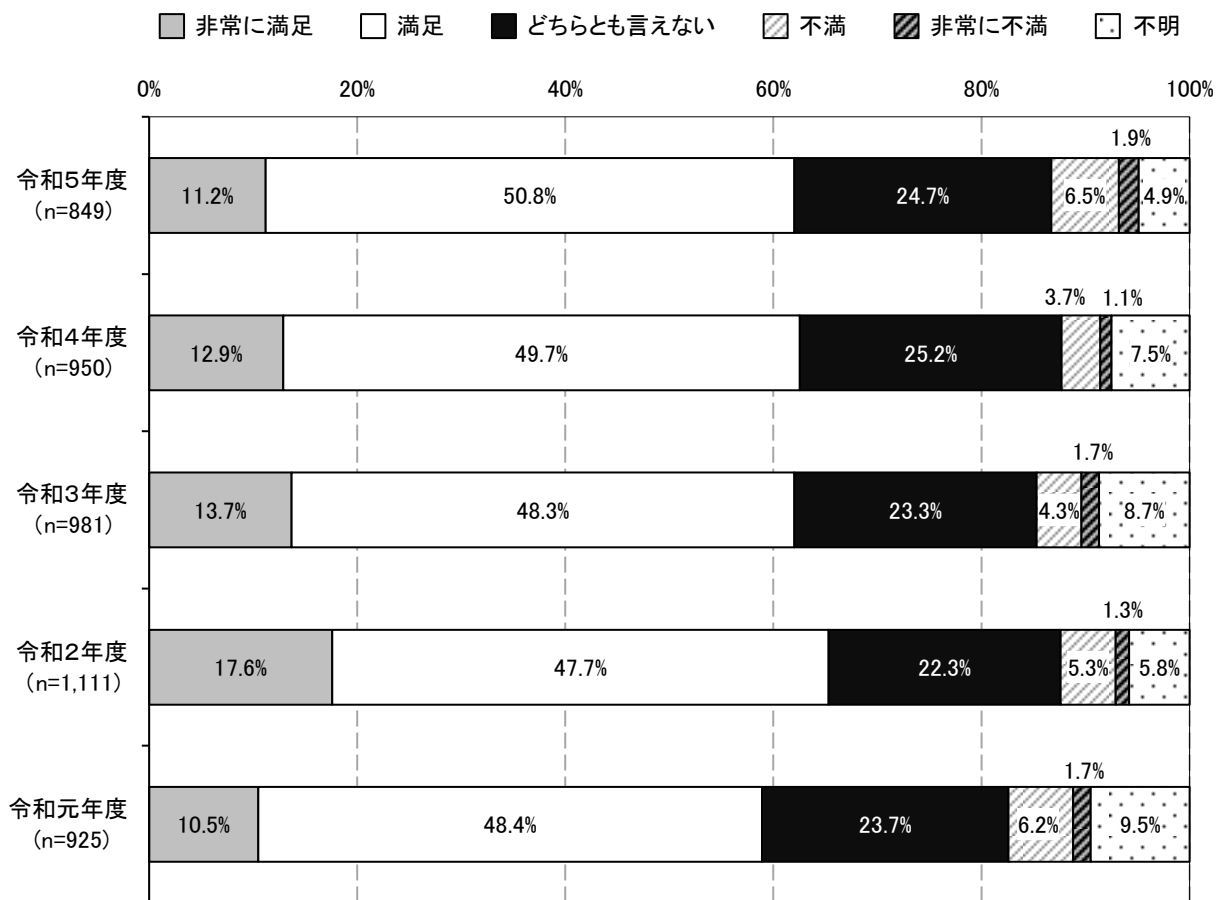
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



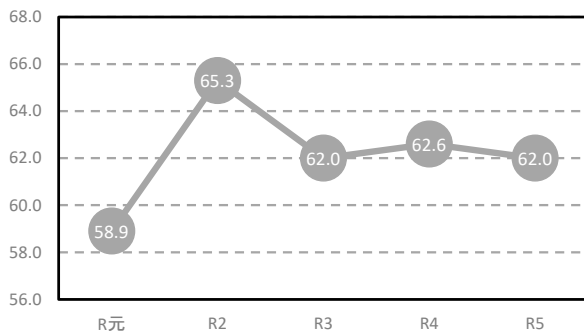
### <海・山・川などの豊かな自然環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少したものの、目標値である60.0%を超え、達成となっている。一方で不満度は増加しており、今後もさらに市民や事業者の環境保全意識を向上させ、環境にやさしい生活や事業が行われるよう、啓発活動や情報提供等を通じて、環境づくりに引き続き努めていく必要があると思われる。

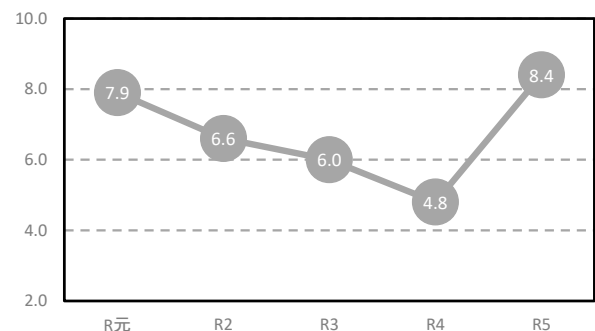
満足度目標値	(令和8年度) 60.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



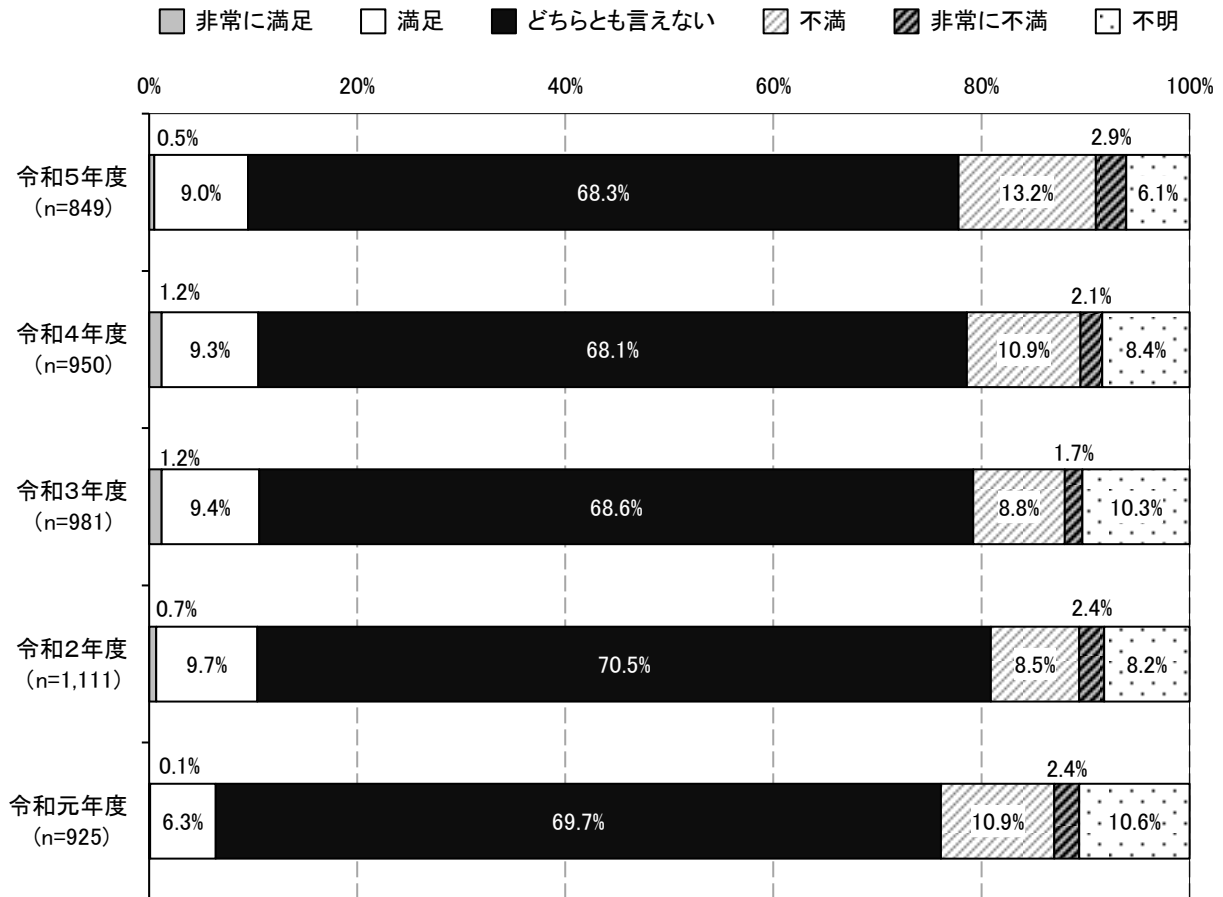
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



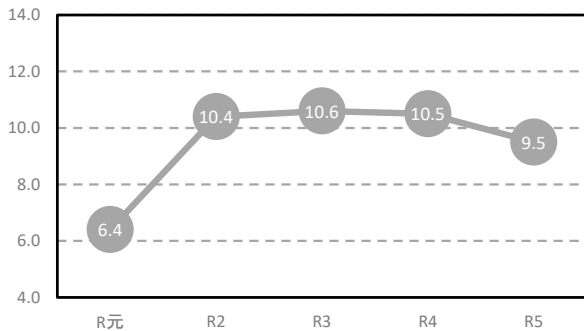
### <生涯学習支援サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、幅広い世代に学びの機会を提供し、課題解決の支援の充実を行っていくほか、より質の高いサービスの提供に努める必要があると思われる。

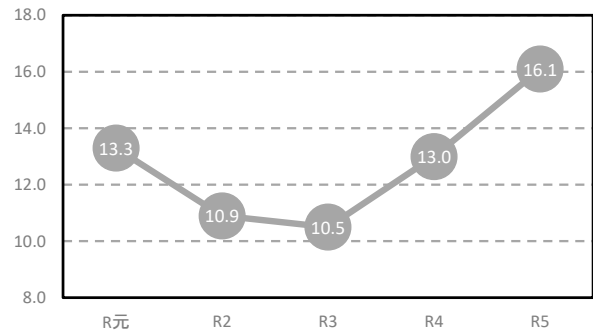
満足度目標値	(令和8年度) 17.7%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移

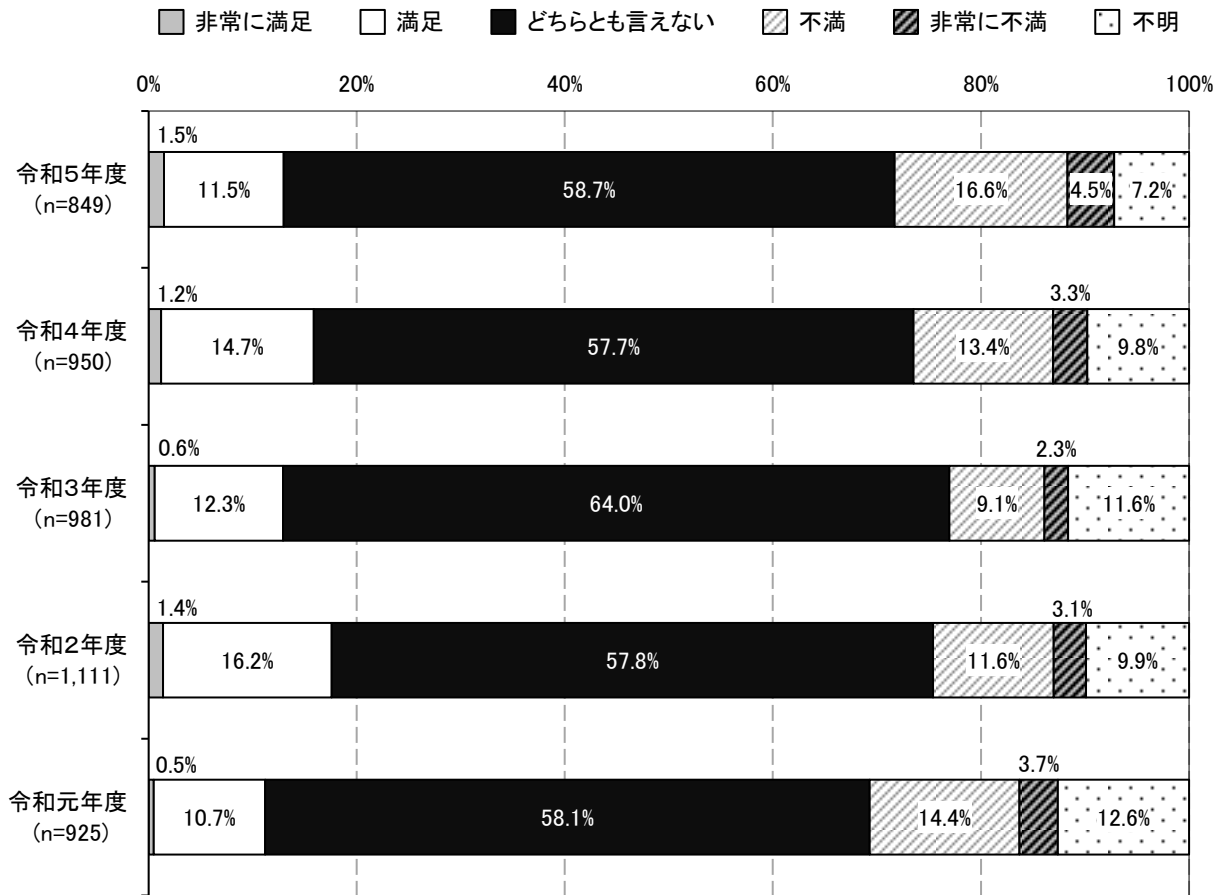


不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移

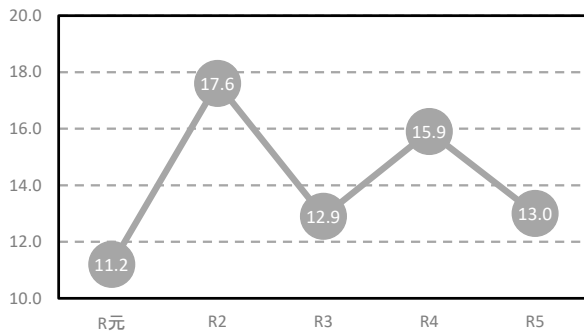


### <子供や子育てに対する支援サービス>

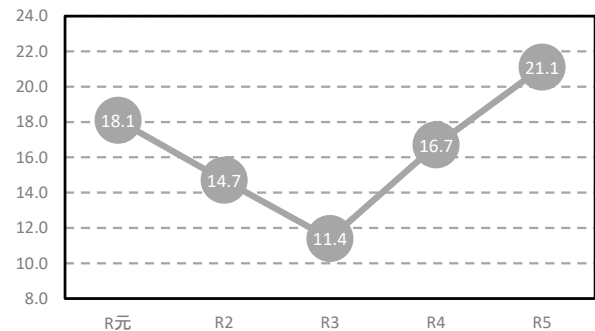
全体の回答では、満足度は減少し、不満度は増加している。0～14歳のお子様がいる方においては、満足度は増加しているが、不満度も増加している。引き続き、より安心して子供を生き育てることのできる環境の整備に努めていく必要があると思われる。



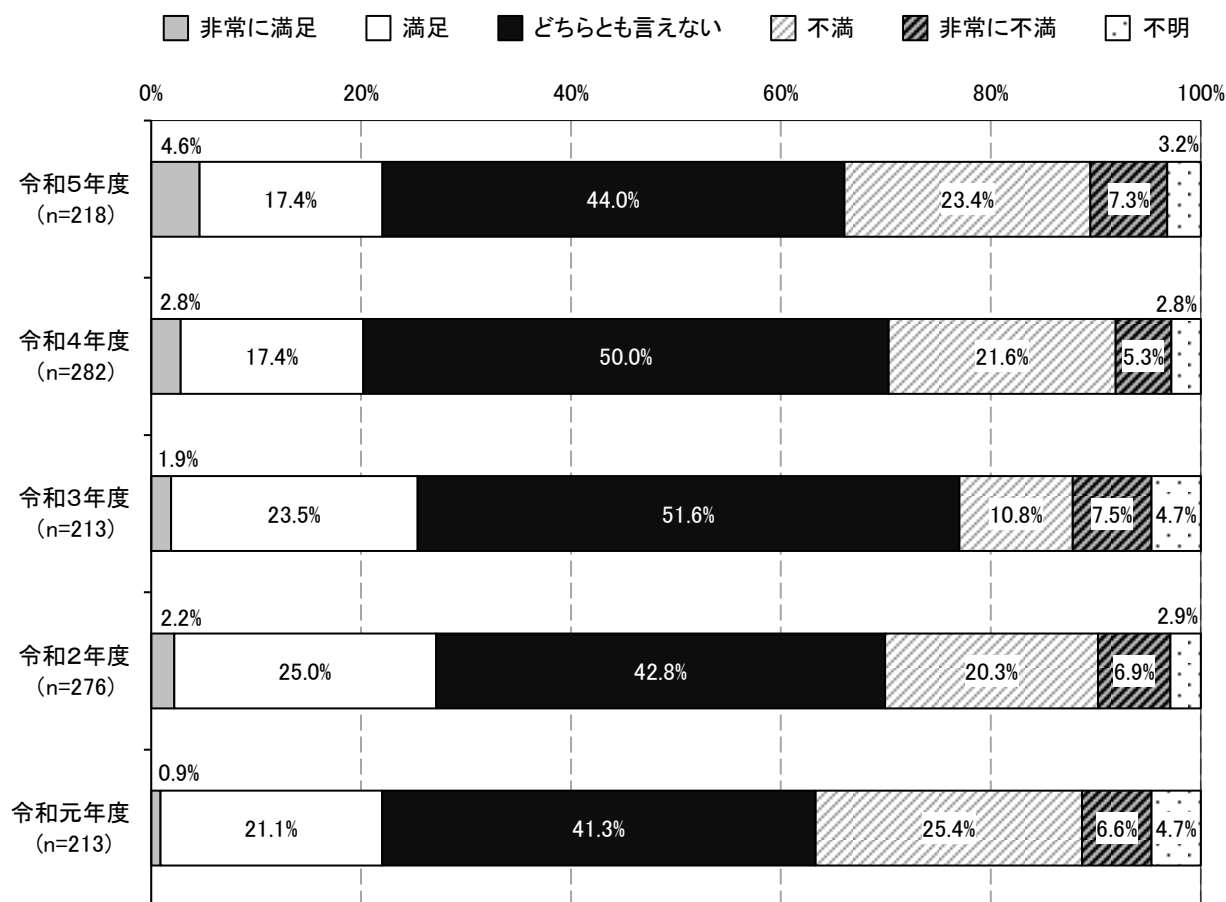
満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



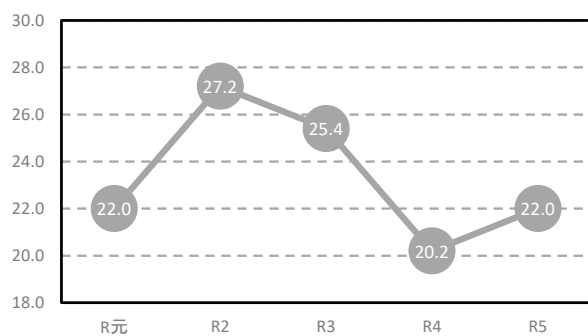
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



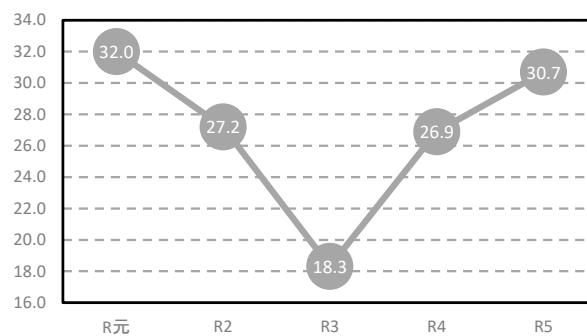
### 【0～14歳のお子様がいる方への回答】



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



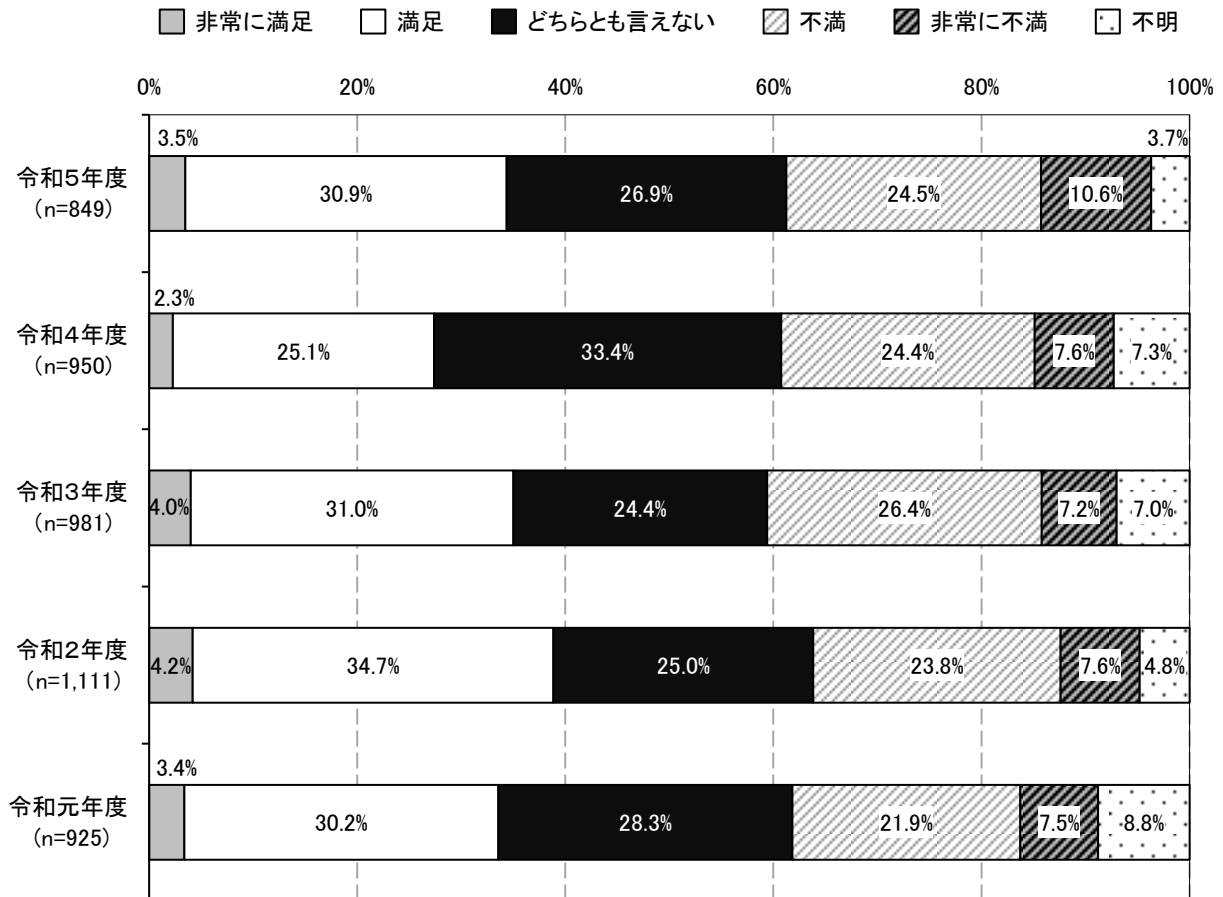
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



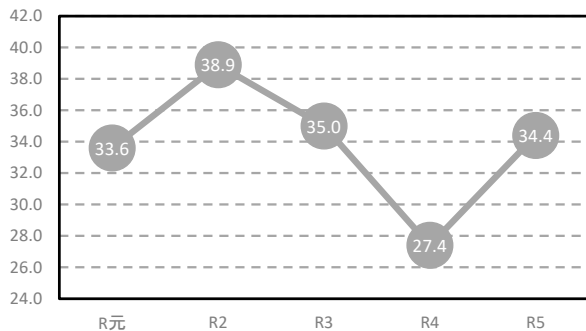
### <通勤・通学・買い物などの日常生活の便利さ>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。不満度の減少を目指すと同時に目標値を達成する必要がある。今後は、より中心市街地の活性化を図るとともに、コンパクトで便利なまちを形成するため、駅や小学校周辺などの生活拠点に住居と日常生活に必要な機能の緩やかな誘導を図る必要があると思われる。

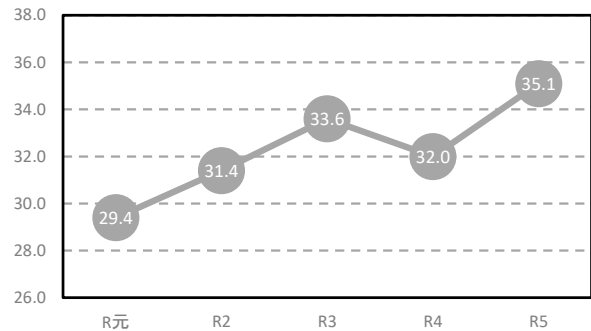
満足度目標値	(令和8年度) 35.5%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



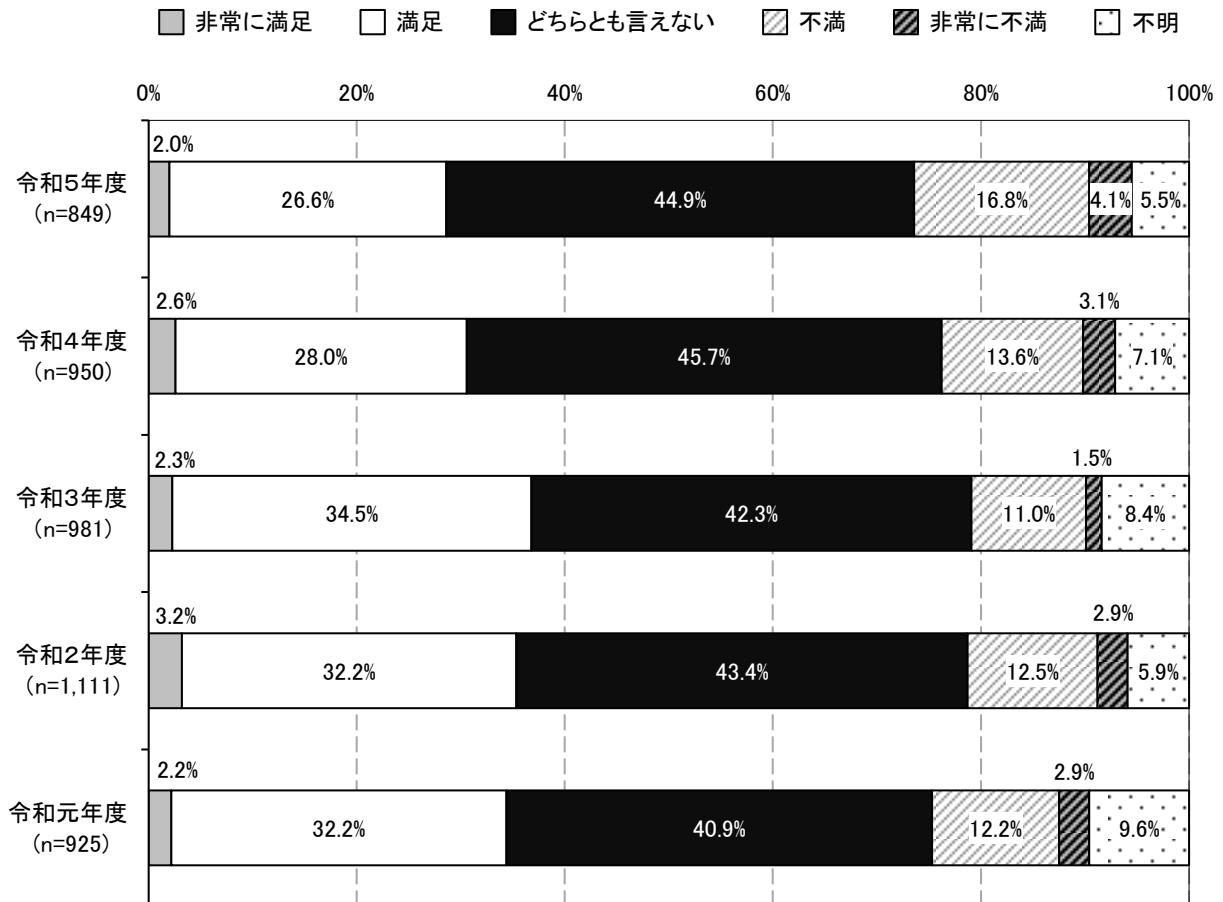
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



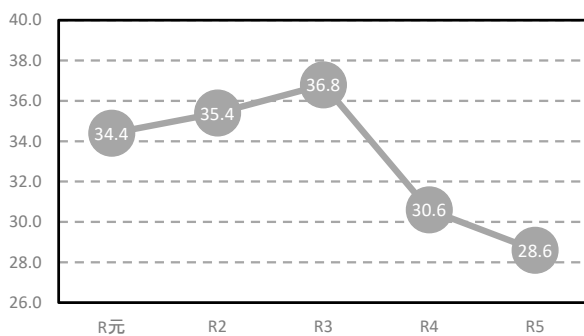
### <快適で暮らしやすい住宅環境>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、良質な住宅や良好な宅地の確保に向け、空き家の適正管理・除去や利活用を促進するとともに、老朽市営住宅の建替え・景観改善・住環境改善を計画的に進める必要があると思われる。

満足度目標値	(令和8年度) 50.0%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



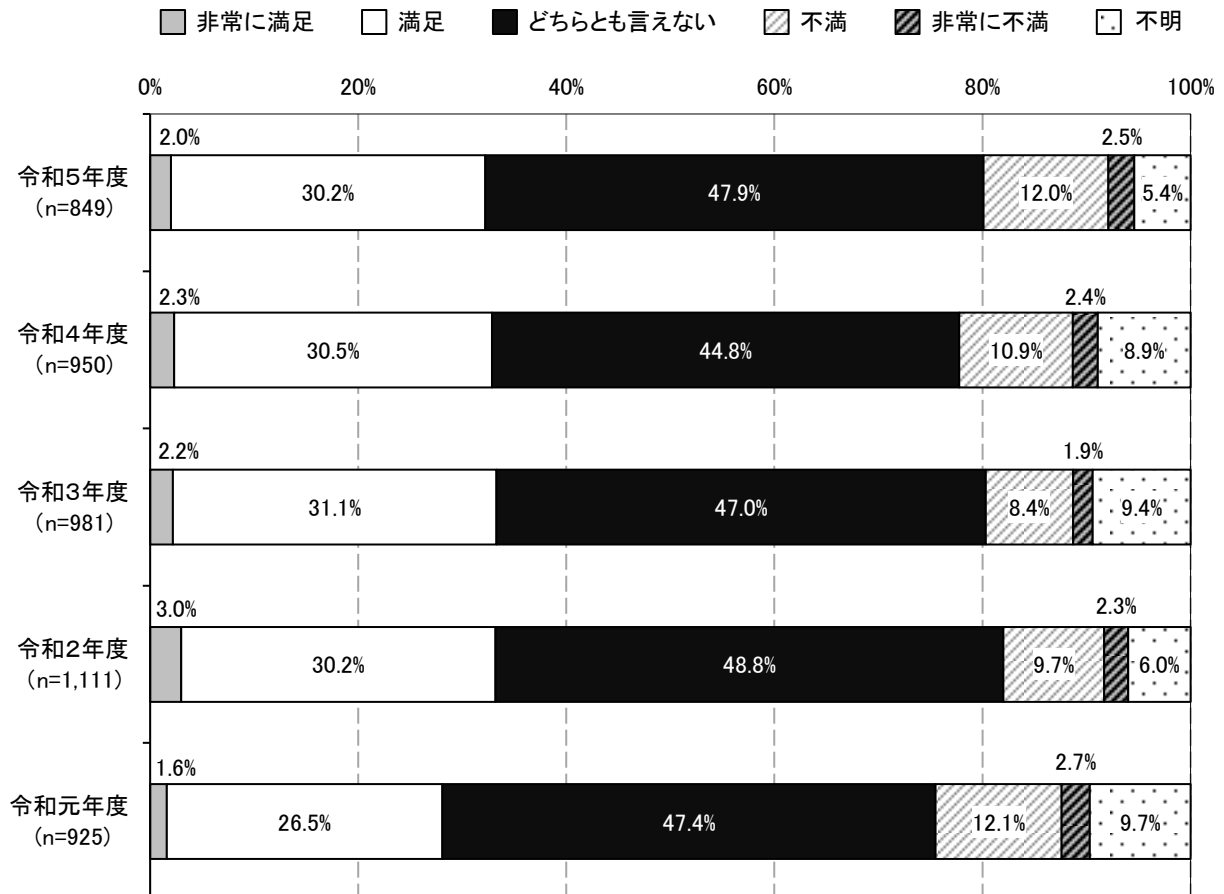
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



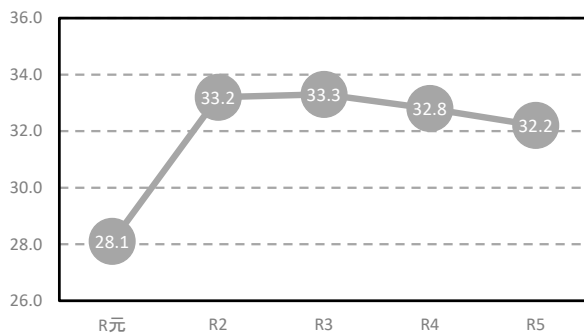
## <医療・保健サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は減少し、不満度は増加している。目標値の達成に向けて、必要な時に適切で良質な医療を利用できるよう地域医療・健康危機管理体制を引き続き充実させる必要があると思われる。

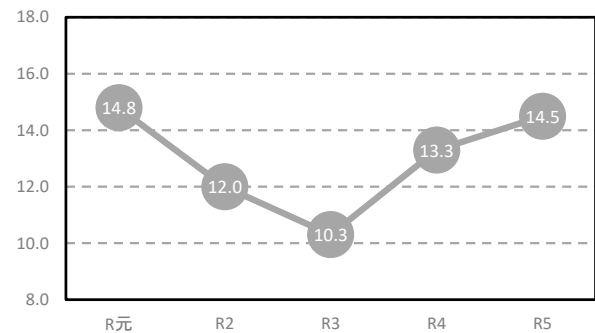
満足度目標値	(令和8年度) 57.6%
--------	------------------



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



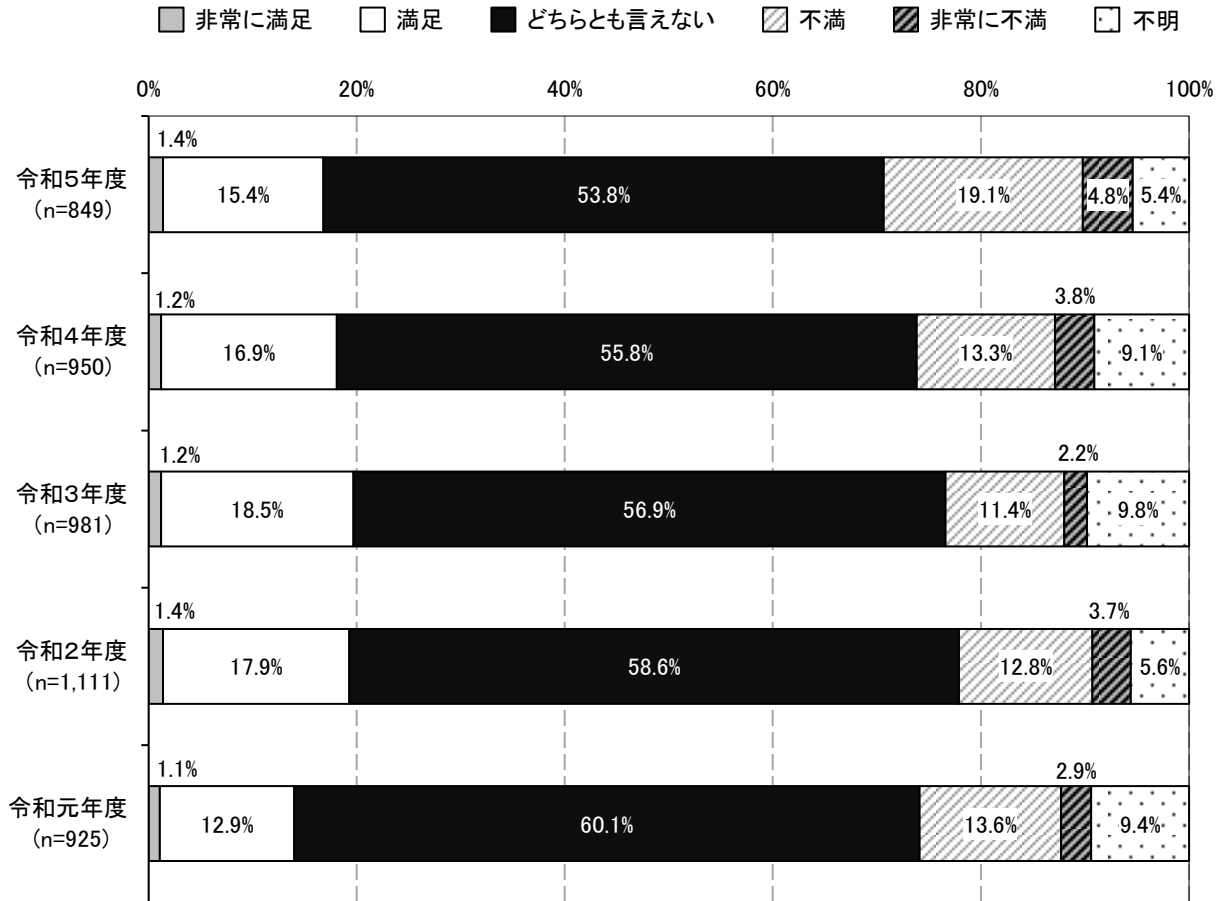
不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



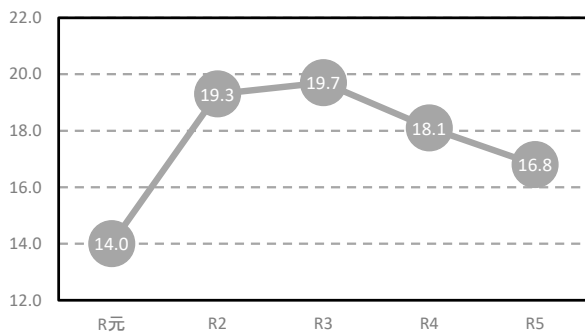


### <高齢者・障害者に対する福祉サービス>

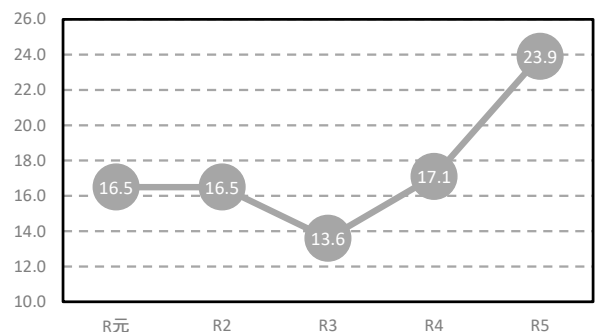
満足度は減少し、不満度は増加している。高齢者や障害者が安心して安全に暮らすことのできるまちづくりに向けて、バリアフリー化やユニバーサルデザインの推進とともに、引き続き支援体制の強化を図る必要があると思われる。



満足度(「非常に満足」と「満足」を合わせた計)の推移



不満度(「非常に不満」と「不満」を合わせた計)の推移



### <介護保険や年金・国民健康保険などの社会保障サービス>

この設問は「第5次和歌山市長期総合計画」において、「めざす10年後の姿」の達成度を測るためのまちづくり指標として設定されている。満足度は増加しているが、不満度も増加している。今後は、不満度の減少を目指すと同時に目標値の達成に向けて、必要な社会保険・公的扶助のサービスを適正に受けることができる環境を整えていく必要があると思われる。

満足度目標値	(令和8年度) 26.0%
--------	------------------

